

第14章 福岡新田遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

福岡新田遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の右岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面上で、標高7～10m前後の平坦地に位置する。遺跡周辺は福岡江川が僅かに南に湾曲しており、江川の侵食による蛇行なのか、埋没谷又は湧水などの影響によるものなのかは不明であるが、江川から南に広がる窪地と周辺部には僅かな微高地状の起伏もみられる。

福岡新田は江戸時代の慶安年間(1648～52年)に川越藩の新田開発により成立した村で、『新編武蔵風土記稿』によると村域は江川左岸の「東西25町許、南北5町」とあり、東西約2.7km・南北約500mである。

当初の遺跡範囲は、江川の北側に延びていたが、江川の北側は松山遺跡に統合し、南側のみを福岡新田遺跡とした。遺跡の範囲は南北230m、東西240mであるが、今後東西に広がる可能性もある。遺跡周辺は一部宅地開発されるが畑地も多く残っている。周辺の遺跡は、江川の対岸に松山遺跡、200m東側に鷺森遺跡、350m西側に駒林遺跡(2008年駒林新田前遺跡と統合)がある。本遺跡周辺の調査は、1982年新田2丁目の試掘調査以来、今回で7ヶ所目となる。過去の調査では遺構は確認されておらず、平安時代の土器片と縄文時代中期の土器片の散布が確認されている。

II 福岡新田遺跡第1地点

(1) 調査の概要

調査は安楽寺の本殿、客殿、庫裏等の建替えに伴うもので、原因者より2007年8月6日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の範囲外に位置するが、遺跡縁辺部で面積が1,000㎡を越えるため、「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請者と協議の結果、遺構の分布を確認し遺跡範囲を明らかにするための試掘調査を実施した。試掘調査は同年10月9日から24日まで行なった。幅2mのトレンチ3本を設定し重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった。

調査の結果、縄文時代の遺物包含層と、中・近世以降の土坑6基・溝5本等を検出した。なお、旧石器時代の確認調査は行なっていない。遺構の確認・検出を行ない、写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻して調査を終了した。

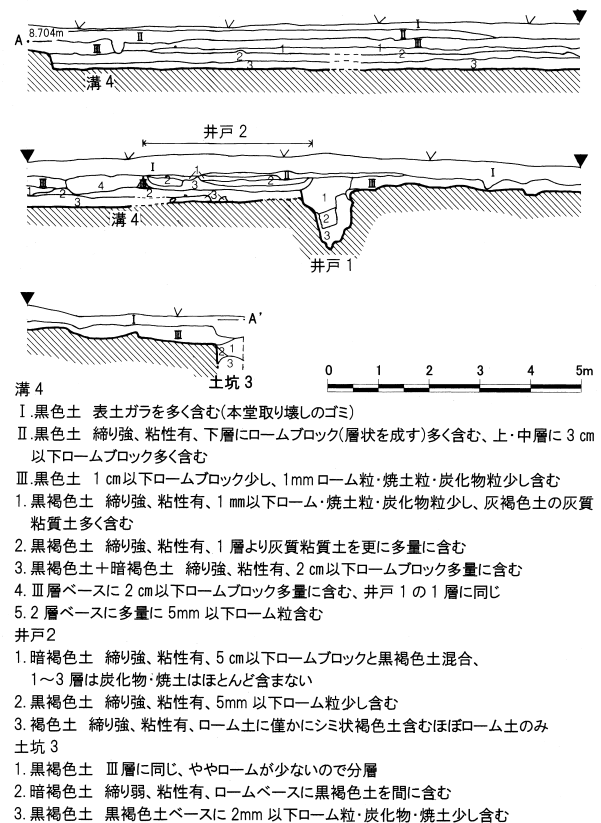
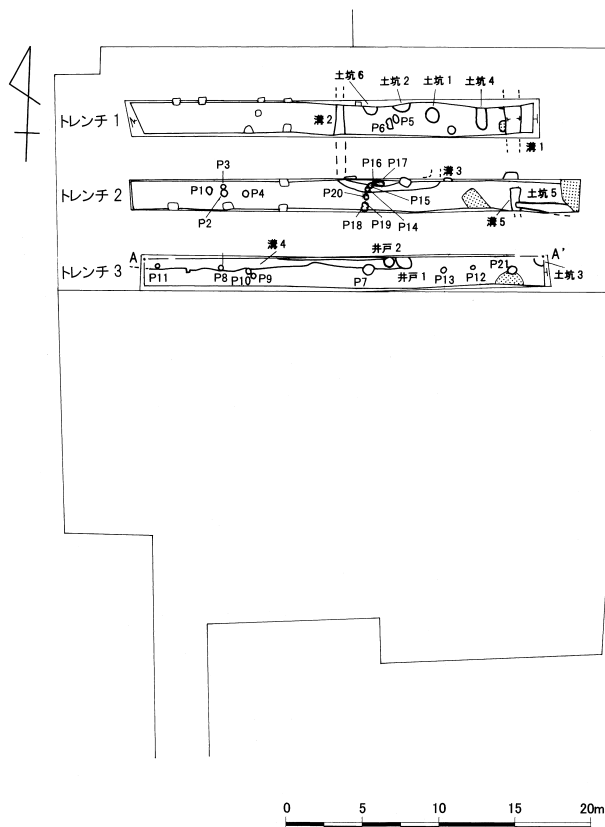
試掘調査の結果、縄文時代の遺物包含層と近世以降の遺構と遺物が確認されたため、2008年遺跡の範囲を東側と南側に広げる変更増補を行なった。



第37図 福岡新田遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第27表 福岡新田遺跡調査一覧表

地 点	所 在 地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と 遺物	所収報告書
1982年度新田2丁目 遺跡試掘	新田2丁目481～482	(1982.8.27～9.14)	1454	民間開発	近世陶磁器、松山 遺跡に変更	埋蔵文化財の調査 (V)
1989年度新田遺跡試掘	新田字本新田400-1	(1989.6.22～27)	495	宅地造成	なし、松山遺跡に 変更	埋蔵文化財の調査 (12)
1991年度福岡新田試掘	駒林817-1	(1991.4.23～26)	482	個人住宅	自然堤防ではなく 後世盛土	埋蔵文化財の調査 (14)
1991年度駒林新田試掘	駒林新田727-1-3	(1991.8.3)	2186	共同住宅	なし、駒林遺跡に 変更	埋蔵文化財の調査 (14)
1992年度福岡新田試掘	中福岡362	(1992.7.17～22)	998	共同住宅	なし、松山遺跡に 変更	埋蔵文化財の調査 (15)



第38図 福岡新田遺跡第1地点遺構配置図 (1/500)、土層図 (1/150)

(2) 遺構と遺物

確認した遺構は土坑、ピット、井戸、溝等である。礎石と溝 4 は解体された安楽寺に伴うものと考えられる。またトレンチ 1 中央部から縄文時代中期の土器がややまとまって出土したが、掘り込みは確認出来なかったため包含層出土とした。礎石出土の縄文土器も遺構の時期を示すものではない。

①土坑・ピット・井戸

土坑は 6 基検出した。土坑 1 は覆土層の観察から中・近世の時期に、他の土坑とピットは中・近世以降とみられる。土坑 5 は溝の可能性がある。

井戸は 2 基確認し、井戸 2 は溝 4 より新しい。

②溝

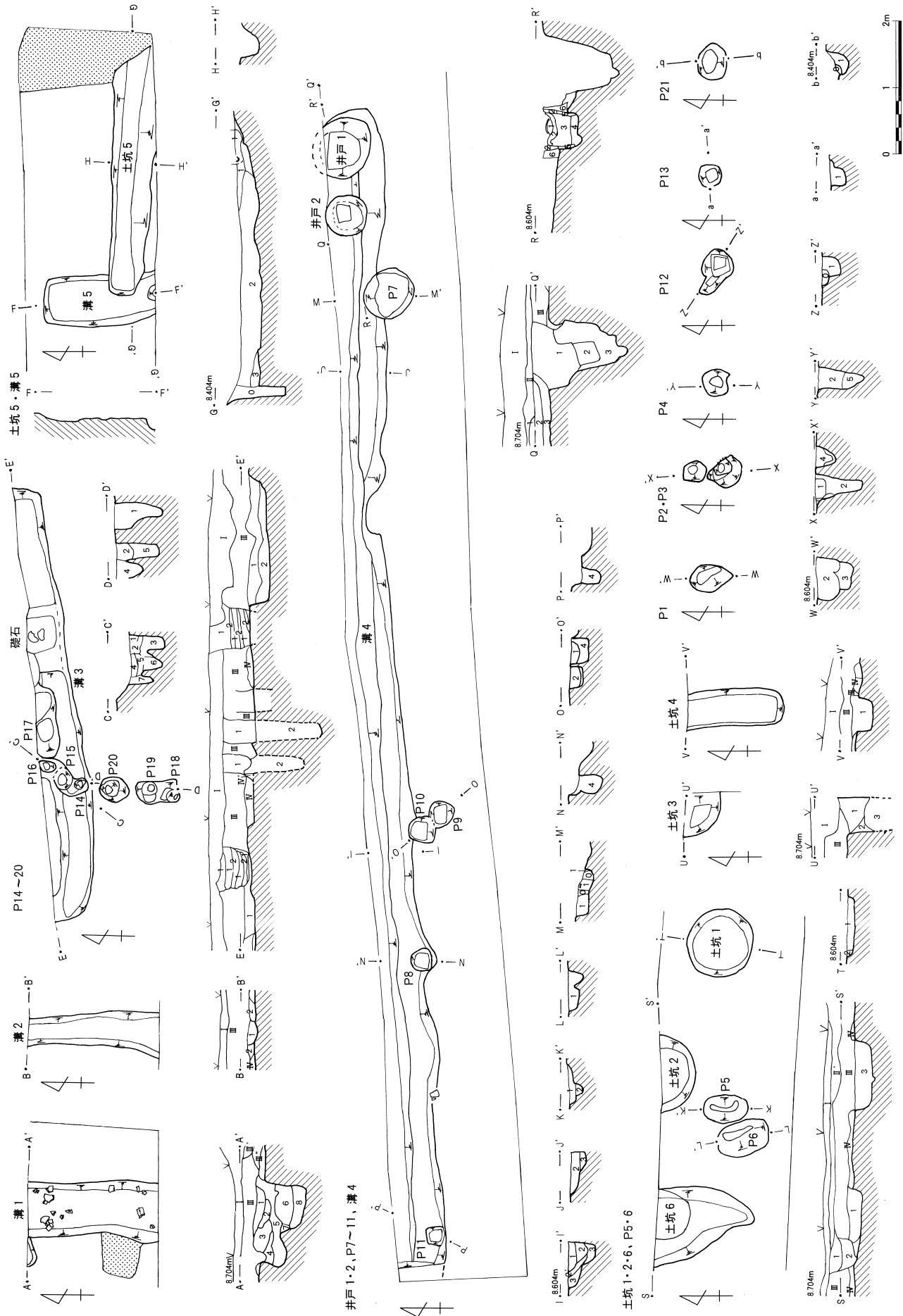
溝 5 本を確認した。溝 2 と溝 3 は繋がる可能性があるが、他の溝同様に全貌は不明である。

③出土遺物

土坑 1・2、ピット 7・17、礎石出土の縄文式土器は遺構の覆土層出土であるが、遺構自体の時期を示すものではない。

第28表 福岡新田遺跡第1地点溝一覧表 (単位:cm)

No.	断面形態	上幅	下幅	深さ	備考
1	「U」状	75～80	52～60	51.3	
2	浅い「V」状	38～68	22～50	10	
3	浅い「U」状	45～60	32～34	24.4	長さ12m
4	不明	80～	25～	39.5	
5	浅い「U」状	63～73	55～60	16.2	



第39図 福岡新田遺跡第1地点井戸・土坑・ピット・溝 (1/80)

福岡新田遺跡第1地点土層説明

- I.黒色土 表土ガラを多く含む(本堂取り壊しのゴミ)
- II.黒色土 締り強、粘性有、下層にロームブロック(層状を成す)多く含む、上・中層に 3 cm以下ロームブロック多く含む
- II'.灰黒褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土ベースに 3 cm以下灰黒褐色土シミ状に多く、1 cm以下シミ状焼土多く含む火災による灰の混合土
- III.黒色土 1 cm以下ロームブロック少し、1mm ローム粒・焼土粒・炭化物粒少し含む
- III'.褐色土 締り強、粘性有、盛土ローム近・現代
- III".黒褐色土 締り強、粘性有、Ⅲ層ベースに 3mm 以下焼土粒、2mm 以下炭化物粒多く含む、陶磁器少し含む
- III"".黒色土 締り強、粘性有、Ⅲ層より黒色強くローム粒含む割合少ないシミ状暗褐色土少し含む
- IV.黒褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土ベースにシミ状暗褐色土と 1mm 以下粒状ローム少し含む、縄文土器含む
- IV'.黒褐色土 締り弱、粘性有、黒褐色土と暗褐色土斑状に含む(ピット覆土)
- V.褐色土 締り強、粘性有、地山ソフトローム

溝 1

- 1.灰黒褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土ベースに灰黒褐色土を帯状に多量、2 cm以下焼土ブロック多く、1 cm炭化物少し含む
- 2.黒褐色土 黒褐色土ベースに 1mm 大焼土・炭化物少し含む
- 3.黒褐色土 黒褐色土ベースに 1mm 以下ローム粒・焼土・炭化物やや多く含む
- 4.暗褐色土 ロームブロックと黒褐色土の混合土
- 5.黒褐色土 黒褐色土ベースに 2 cm以下ロームブロック少し、1mm 以下ローム粒・焼土粒・炭化物粒少し含む
- 6.褐色土 ロームブロック層、盛土状に溝全体に広がる
- 7.暗褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土主体に 2 cm以下ロームブロック多く含むややボロボロする
- 8.暗褐色土 締り強、粘性有、3 cm以下ロームブロックと黒褐色土混合土、1 cm大焼土粒多く、5mm 以下炭化物少し含む

溝 2

- 1.黒褐色土 締り強、粘性有、Ⅲ層よりローム・炭化物・焼土粒少ない
- 2.暗褐色土 締り強、粘性有、1 層とⅣ層の混合土

溝 3

- 1.黒褐色土 締り有、粘性有、しみ状・ブロック状・粒状にローム多く含む

- 2.暗褐色土 締り有、粘性有、しみ状・ブロック状に黒褐色土含む

溝 5

- 1.黒色土 締り強、粘性有、1mm 大ローム粒極少し含む

礎石 3他

- 1.暗褐色土 締り強、粘性有、ロームベースに暗(黒)褐色土斑状に 3mm 以下焼土粒少し含む
- 2.黒褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土ベースに 3 cm以下ロームブロック多く、3mm 以下焼土粒少し含む
- 3.黒褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土ベースに 2mm 以下ローム・焼土粒少し含む
- 4.暗褐色土 締り強、粘性有、ロームと黒褐色土斑状に 5mm 以下焼土少し含む

礎石 7～9

- 1.黒褐色土 締り強、粘性有、1 cm以下灰黒褐色土、3 cm以下焼土・炭化物やや多く含む
- 2.黒褐色土 締り強、粘性有、2 cm以下灰黒褐色土、3 cm以下焼土・炭化物やや多く含む

井戸 1

- 1.黒褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土ベースに 2 cm以下ロームブロック多量に含む
- 2.黒褐色土 締り強、粘性有、1 層よりロームブロック少し 5mm 以下ローム粒多く含む
- 3.暗褐色土 締り弱、粘性有、3 cm以下ロームブロックと黒褐色土混合土

井戸 2

- 1.黒褐色土 締り弱、粘性有、ロームブロックの間に黒褐色土少し含む
- 2.褐色土 締り強、粘性有、ロームベースにシミ状に黒褐色土極少し含む
- 3.灰 色 締り強、粘性有、灰色粘土にシミ状に酸化鉄多く含む
- 4.褐色土 締り強、粘性有、2 層に同じ
- 5.褐色土 締りやや弱、粘性有、2・5 層に黒褐色土を少し含み締り弱い
- 6.溝 4 覆土

土坑 1・2

- 1.黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多く含む
- 2.暗褐色土 締り強、粘性有、地山ソフトロームに似た暗褐色土主体に 1mm 大ローム粒少し含む
- 3.黒褐色土 締り強、粘性有、1 cm以下ロームブロック多く、同黒色土少し含む、土坑 1～3 は焼土粒・灰黒・褐色土全く含まない、中世の遺構?

土坑 4

- 1.黒褐色土ベース 締り強、粘性有、2 cm以下ロームブロック多量に含む

土坑 5

0.攪乱

- 1.黒色土 締り強、粘性有、1mm 大ローム粒極少し含む
- 2.黒色土 締り弱、粘性有、3 cm以下ロームブロック多く含む
- 3.黒色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し含む

土坑 6

- 1.黒褐色土 締り強、粘性有、しみ状Ⅲ層とローム粒を含む

土坑 7

- 1.黒褐色土 締り強、粘性有、3 cm以下ロームブロック多く含む

ピット 7

0.攪乱

- 1.黒褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土ベースに 1.5 cm以下シミ状ローム多く、1mm 大ローム粒少し、土器片含む、トレンチ 1 の縄文土器出土層も同じ
- 2.暗褐色土 締り強、粘性有、1 層より明るく、シミ状に黒褐色土少し含む

ピット 12・13・21

0.攪乱

- 1.黒褐色土 締り強、粘性有、2 cm以下ローム多く、2mm 以下焼土・炭化物少し含む

ピット 14～16・18～20

- 1.黒褐色土 締り弱、粘性有、5mm 以下ローム粒・焼土・炭化物少し含む
- 2.暗褐色土 締り弱、粘性有、ロームブロックの間に黒褐色土含む
- 3.黒褐色土 締り弱、粘性有、ロームブロックの間に黒褐色土含む、2 層よりローム多い
- 4.黒褐色土 締り弱、粘性有、1 層にほぼ同じ、焼土少ない
- 5.褐色土 締り弱、粘性有、ロームブロック層
- 6.黒褐色土 締り弱、粘性有、黒褐色土ベースにシミ状にローム少し含む
- 7.黒褐色土 締り弱、粘性有、4層に同じ、下層にロームブロック少し含む

ピット 17

- 1.暗褐色土 締り強、粘性有、3 cm以下ロームブロック多く含む、焼土・炭化物ほとんど含まない
- 2.黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒少し焼土・炭化物ほとんど含まない灰黒褐色土含まない

第29表 福岡新田遺跡土坑・ピット・井戸一覧表

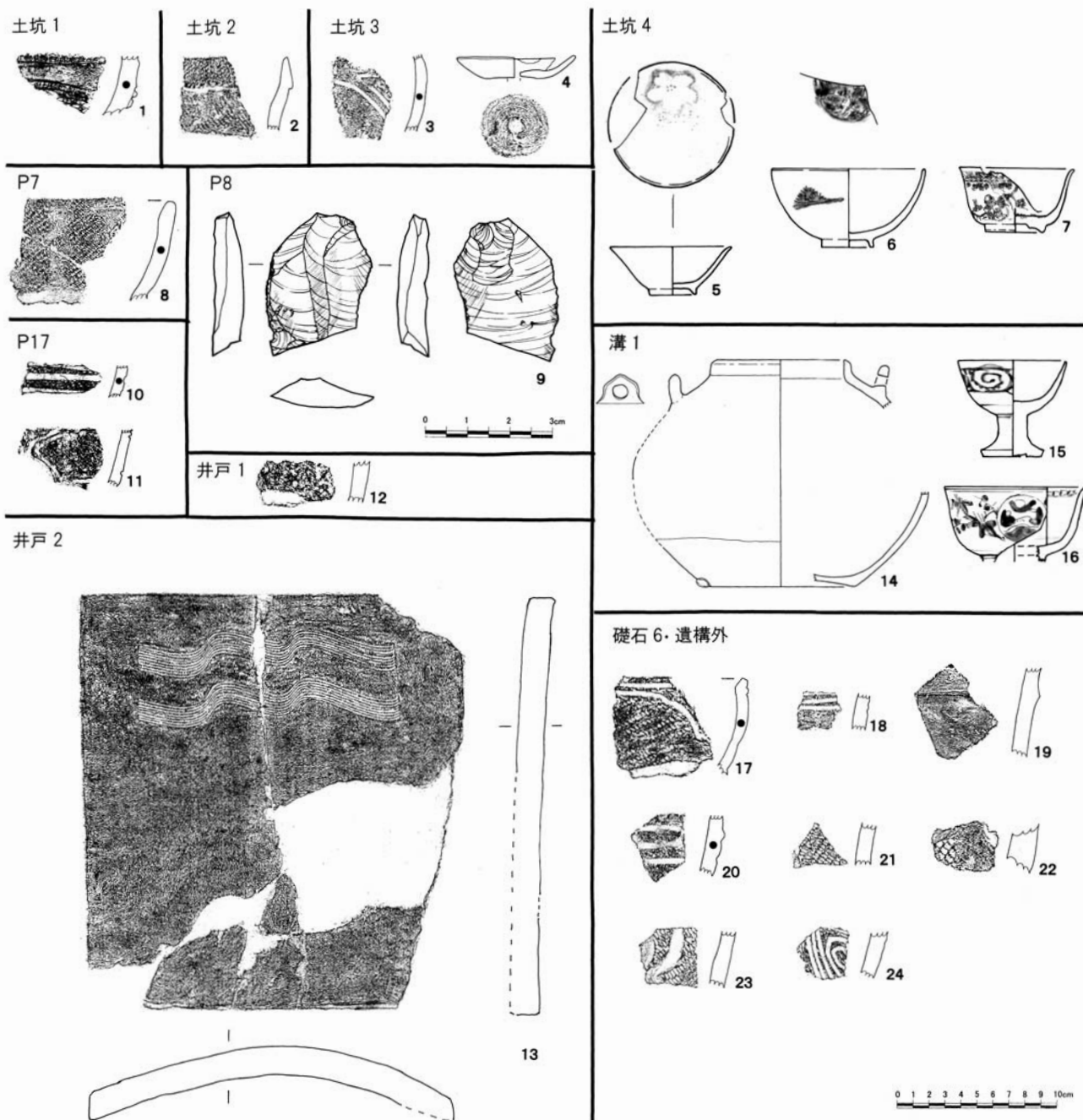
(単位:cm)

遺構名	平面形態	確認面径	底径	深さ
土坑1	円形	104×97	81×81	16.4
土坑2	不明	118×(51)	85×(41)	32.2
土坑3	不明	(65×57)	45×25	113.3
土坑4	不明	(143)×56	(135)×40	27.7
土坑5	不明	(360)×65	(351)×35	36.3
土坑6	不明	(145)×119	75×(48)	17.8
P 1	楕円形	64×41	39×15	62
P 2	円形	55×42	14×10	69.7
P 3	円形	35×35	12×11	30.7
P 4	円形	42×42	20×18	70
P 5	楕円形	65×44	39×6	27.2
P 6	楕円形	76×52	46×12	29.5
P 7	円形	79×68	70×56	24.4
P 8	円形	36×35	22×21	49.8
P 9	方形	41×39	26×19	19.6

遺構名	平面形態	確認面径	底径	深さ
P 10	方形	40×39	27×24	34.9
P 11	方形	29×29	20×18	42.3
P 12	不整形	73×44	26×21	29.2
P 13	円形	33×33	18×17	25.1
P 14	不明	40×21	11×8	41.2
P 15	方形	38×26	19×13	53.1
P 16	方形	24×17	10×10	56
P 17	不明	(65)×35	37×25	80.7
P 18	不明	35×(32)	10×4	77.5
P 19	不明	36×(35)	10×10	66.5
P 20	円形	45×39	15×11	73.8
P 21	楕円形	57×43	35×22	31.8
井戸1	円形	60×60	40	50.3
井戸2	円形	80×68	60	143

第30表 福岡新田遺跡第1地点出土遺物観察表

No	出土 遺構名	種別・器種	単位cm・g(括弧付きは残存値)			技法・文様・その他	推定産地	推定年代	残存・備考
			口径・ 長さ	底径・幅・ 内径	高さ・ 厚さ				
1	土坑1	縄文土器/深鉢	—	—	—	弧状に細かな角押文、金雲母含む	—	縄文時代中期前半	
2	土坑2	縄文土器/深鉢	—	—	—	折り返し状口唇部+体部外面Lr縄文	—	縄文時代中期	
3	土坑3	縄文土器/深鉢	—	—	—	沈線文、金雲母含む	—	縄文時代中期前半	
4	土坑3	土器/かわらけ	7.3	4.0	1.2	轆轤成形/糸切底(右)/口縁部煤付着/底部に焼成後穿孔	在地系	1750年代～ 1860年代	蜀台に転用か
5		磁器/小坏	7.7	2.9	2.9	轆轤成形/吹墨/内面桜花文	瀬戸・美濃系	～昭和期前半	
6	土坑4	磁器/碗	5.0	3.2	5.0	轆轤成形/陰刻染付/外面松文、内面不明	瀬戸・美濃系	1840年代～	
7		磁器/小坏	7.1	4.0	3.5	轆轤成形/蛇ノ目凹形高台/銅版転写染付/外面松下文人文	瀬戸・美濃系	1890年代～	
8	P7	縄文土器/深鉢	—	—	—	口縁部縦位RL縄文+頸部横位沈線	—	中期阿玉台系	
9	P8	黒曜石/剥片	—	—	—	側縁に細部調整加工痕有り	—	縄文時代	
10	P17	縄文土器/深鉢	—	—	—	沈線間に単節縄文、金雲母含む	—	縄文時代中期	
11		縄文土器/深鉢	—	—	—	2本の蛇行沈線+単節縄文	—	縄文時代中期	
12	井戸1	縄文土器/深鉢	—	—	—	磨滅著しく文様不明	—	縄文時代	
13	井戸2	瓦/平瓦	26.1	(23.0)	2.0	キッコミ1ヶ所、凸面に8条と9条の櫛型文を引く	不明	1960年代初頭	
14		陶器/土瓶	8.7	14.2	9.2	轆轤成形/二耳・三足貼付/藁灰釉	不明	—	注口欠損
15	溝1	磁器/仏飯具	6.5	3.7	6.0	轆轤成形/染付/外面渦巻き文	肥前系	18世紀～19世紀前半	
16		磁器/碗	9.0	—	(4.8)	轆轤成形/染付/口縁内連鎖文、外面窓絵梅笹文	肥前系	1850年代～ 1860年代	
17	礎石6	縄文土器/深鉢	—	—	—	沈線区画内RL縄文、金雲母含む	—	中期阿玉台系	
18	包含層	縄文土器/深鉢	—	—	—	横位2本沈線	—	縄文時代中期	
19		縄文土器/深鉢	—	—	—	断面三角形微隆帯貼付	—	縄文時代中期	旧名称1号住居
20	表土	縄文土器/深鉢	—	—	—	隆帯+沈線、金雲母含む	—	縄文時代中期	
21		縄文土器/深鉢	—	—	—	RL縄文+沈線	—	中期加曾利EⅡ式	
22	包含層	縄文土器/深鉢	—	—	—	RL縄文+沈線	—	中期加曾利EⅡ式	
23		縄文土器/深鉢	—	—	—	RL縄文+沈線	—	後期称名寺式	旧名称1号住居
24		縄文土器/深鉢	—	—	—	縄文+沈線	—	縄文時代中～後期	



第40図 福岡新田遺跡第1地点出土遺物 (1/4・2/3)



駒林遺跡第4地点試掘調査近景



駒林遺跡第4地点試掘調査トレンチ1



駒林遺跡第4地点土坑1



駒林遺跡第4地点試掘調査風景



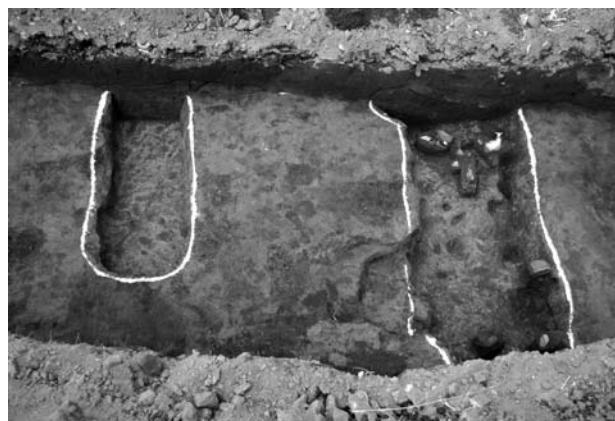
福岡新田遺跡第1地点試掘調査トレンチ1



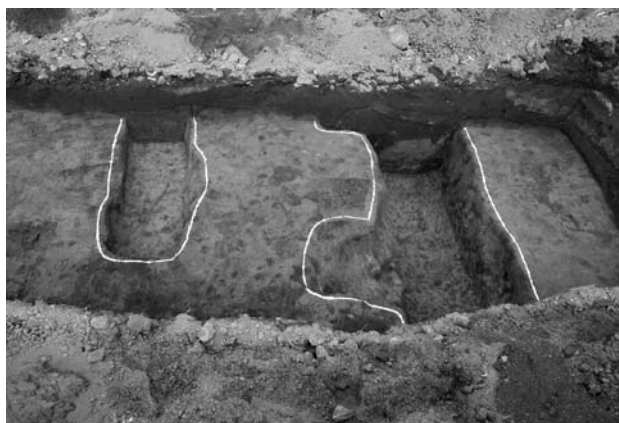
福岡新田遺跡第1地点試掘調査トレンチ2



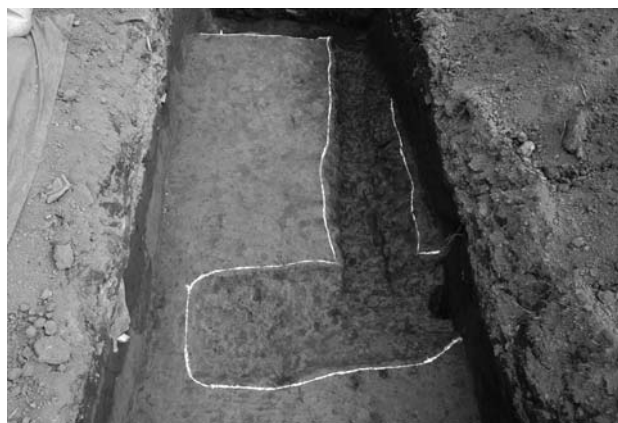
福岡新田遺跡第1地点試掘調査トレンチ3



福岡新田遺跡第1地点土坑4、溝1



福岡新田遺跡第1地点土坑4、溝1



福岡新田遺跡第1地点土坑5、溝5



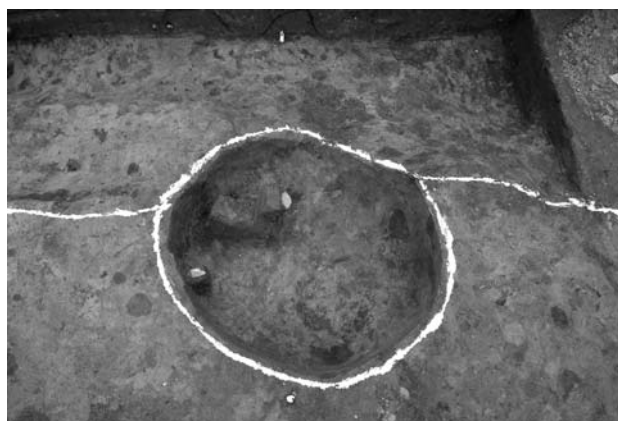
福岡新田遺跡第1地点土坑6、溝2



福岡新田遺跡第1地点井戸2



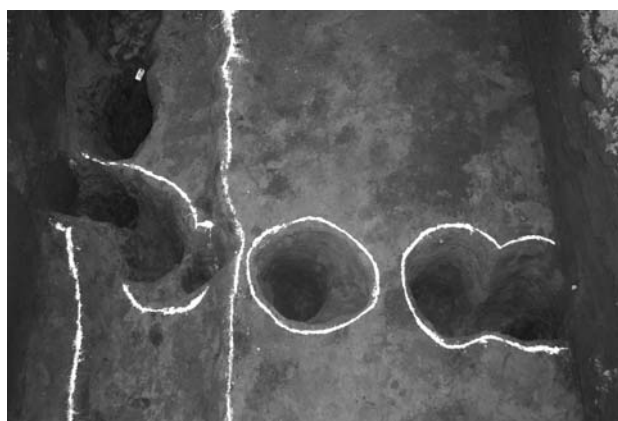
福岡新田遺跡第1地点ピット1～4



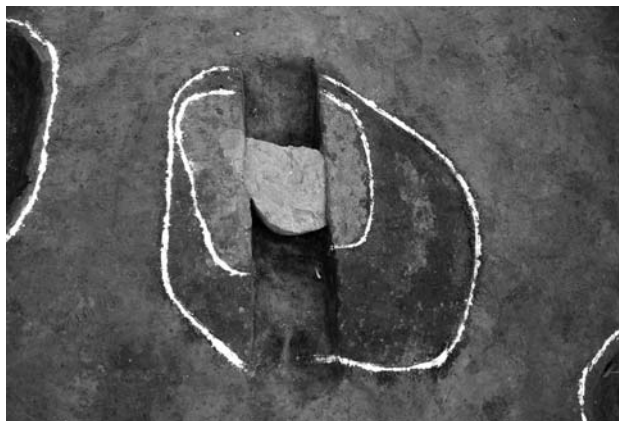
福岡新田遺跡第1地点ピット7



福岡新田遺跡第1地点ピット9・10



福岡新田遺跡第1地点ピット16～20



福岡新田遺跡第1地点礎石



福岡新田遺跡第1地点縄文土器出土状況



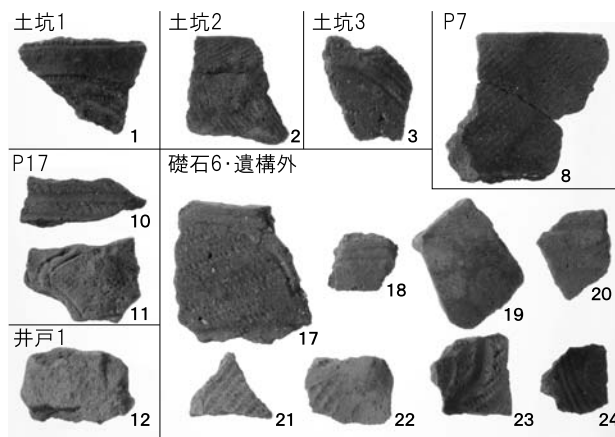
福岡新田遺跡第1地点礎石3



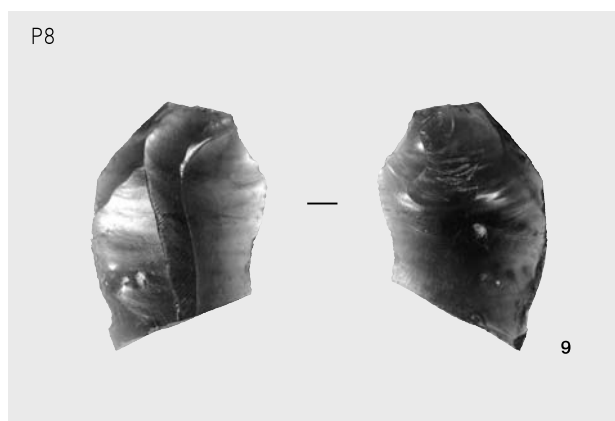
福岡新田遺跡第1地点試掘調査風景



福岡新田遺跡第1地点試掘調査風景

福岡新田遺跡第1地点出土遺物
No.1~3・8・10~12・17~24

福岡新田遺跡第1地点出土遺物No. 4



福岡新田遺跡第1地点出土遺物No. 9

土坑4



溝1



井戸2



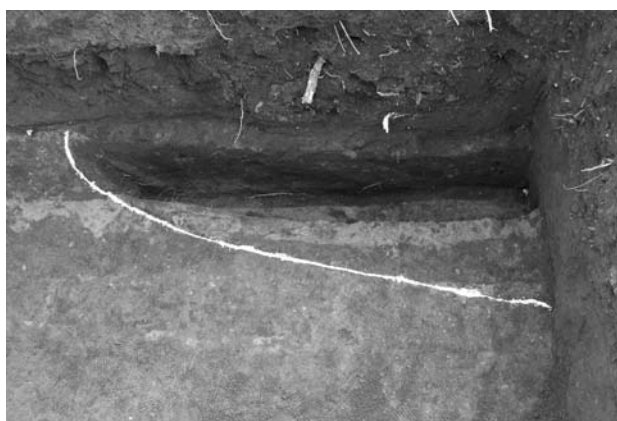
福岡新田遺跡第1地点出土遺物No.5~7・13~16



西ノ原遺跡第135地点試掘調査トレンチ1



西ノ原遺跡第135地点試掘調査トレンチ2



西ノ原遺跡第135地点土坑



西ノ原遺跡第135地点ピット1~3